

非接触式体温計 ベビースマイルPit プラス S-708

シースター 体温計シリーズ S-708

ご使用になる前に

皮膚赤外線体温計「シースター 体温計シリーズ S-708」をお買い上げいただき、ありがとうございます。本製品を安全に正しくご使用いただくために、最初にこの取扱説明書をお読みください。
読み終えた後は、大切に保管してください。

体温計アプリのご使用方法については、別紙の「シースター体温計シリーズ データ通信ガイド」をご確認ください。

安全にお使いいただくために

本製品を安全に、正しくお使いいただくために、次の事項に従って使用してください。

⚠ 警告

- ◎ 測定結果の自己診断、治療は危険です。医師の指示に従ってください。
- ◎ 測定センサーを汚さないでください。

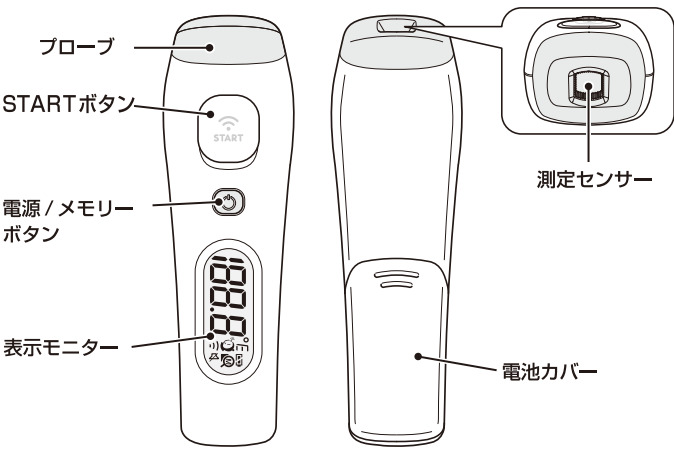
⚠ 注意

- ◎ 取扱説明書をよく読み、十分に理解した上でご使用ください。
- ◎ 周囲温度により、ある程度の測定誤差を生じることがあります。できるだけ同じ場所、同じ時間など、一定の測定環境下でご使用ください。
- ◎ 体温測定をする15分前には、被測定者のいる同室に体温計を置き、周囲温度に慣らしてください。または10℃～40℃の環境に最低30分置いてから使用してください。
- ◎ 分解・修理・改造および調整は行わないでください。
- ◎ 指定以外の電池を使用しないでください。
- ◎ 電池はプラスとマイナスの向きに注意して挿入してください。
- ◎ 測定センサー、プローブは常に清潔な状態で使用してください。
- ◎ 高いところから落下させる等の強い衝撃を与えないでください。
- ◎ 本体を水などの液体に浸したり、水蒸気、煮沸での消毒を行わないでください。
- ◎ 保管環境湿度以外の場所で保管、使用しないでください。規定された温度および湿度以外の環境で保管または使用した場合、本製品は仕様通りに動作をしないことがあります。
- ◎ ペンジン、シンナー等の溶剤で洗浄しないでください。
- ◎ テレビ、電子レンジ、携帯電話に近づけないでください。
- ◎ 体温は額で測定を行ってください。測定部位によって表示温度が異なる場合があります。
- ◎ 小児や乳児の体温を測定する場合はしっかりと抱き、動かないようにしてください。動くことによって正確に測定できない場合があります。
- ◎ 測定温度は、必ず保護者の方が確認してください。また、子供だけで使用させないでください。
- ◎ 食事中、飲酒時、運動時、授乳中または授乳直後に測定は行わないでください。運動、入浴および食事などの後は、30分以上経過し安静にしてから測定してください。
- ◎ 次の要素は、体温に影響を及ぼすことがあります。
 - ・個人の代謝・年齢・服装・外気温・時間帯・活動
 - ・また、温風機やエアコン等の空気の流動を起こす機器が作動している部屋では正確に測定できない場合があります。
- ◎ 電池残量が少なくなると正確に測定できない場合があります。新しい電池に交換してから再度測定してください。
- ◎ 計測を連続で行う場合は、ピープ音が2回鳴ってから実施してください。間を空けずに測定するとエラーが表示されます。
- ◎ 正確な測定のために、額部は清潔にし、汗や化粧品、傷跡などが無い状態にしてください。
- ◎ 次の場合は、体温測定を3回行い、最も高い数値を参照してください。
 - ・被測定者が新生児の場合
 - ・被測定者が免疫不全の子供で、熱がある、または熱はないが重篤な症状である場合
 - ・使用者が初めて本体体温計を使用し、安定した測定結果を出せない場合
 - ・測定した数値が異常に低い場合
- ◎ 動作異常がある場合、またはエラーメッセージが表示される場合は、本製品を使用しないでください。
- ◎ 本製品を廃棄する場合は行政の指示に従ってください。
- ◎ 本製品を長期間使用しない場合は、電池を取り外してください。
- ◎ 本製品を取扱説明書に従って使用したにもかかわらず測定値に疑問がある場合は、お客様サービスにご連絡ください。
- ◎ 病気の診断・治療に本製品を使用しないでください。測定結果はあくまでも参考値です。健康上の問題があると疑われる場合は、医師の診察を受けてください。
- ◎ 熱がある、またはないということだけで被測定者の健康状態を判断しないでください。
- ◎ 付属の電池は充電したり、高温環境下に置かないでください。破裂の恐れがあります。
- ◎ 本製品は細かい部品を含んでおります（例：電池など）。子供が誤って飲み込む恐れがありますので、本製品を子供の手の届く所に絶対に置かないでください。
- ◎ 出荷前検査時の測定値がメモリーに残っている場合がございます。

記号について

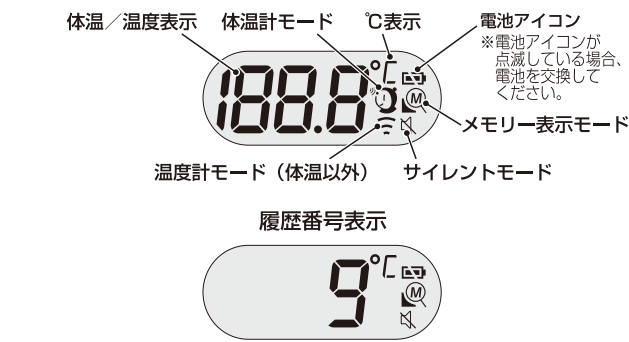
	BF 形装着部	電撃に対する保護の程度が、BF形装着部であることを示しています。 IEC 60601-1規格に規定される要求事項に適合しています。本書（取扱説明書）および添付文書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
	EMC 適合	本製品はEMC規格「IEC 60601-1-2:2014」に適合しています。 ただし、他の医療機器、電子機器との併用において相互に影響を生じる場合があります。本書（取扱説明書）および添付文書に従って正しい設置、取り扱いをしてください。
	操作指示に従う	操作方法の詳細につきましては、取扱説明書をご参照ください。
IP22	IP22	垂直より左右15°以内からの水滴によって有害な影響を受けません。
	工事設計認証	本製品には電波法の規制により工事設計認証を取得した無線設備が内蔵されています。
	Bluetooth®	Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。 シースター株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。

各部の名前



表示モニターに表示される情報

表示モニターには、測定結果のほかに、次のような情報が表示されることがあります。それぞれのマーク等の意味は、次のとおりです。



機 能

本製品は実用的な使用を目的として設計されておりますが、医師の診察に代わるものではありません。

【2種類の測定モード】
本製品は、人の体温を測定する「体温計モード」と、水、湯、ミルク、などの物体の温度を測定する「温度計モード」を切り替えて使用することができます。

【高熱アラーム】
本製品は、体温計モードで37.5℃以上を感知した場合、長いピープ音が1回鳴った後、短いピープ音が3回鳴り、使用者に対して警告を発します。

【メモリー機能】
本製品は、過去 25 回の測定結果を記録することができます。（体温計のみ）

【サイレントモード】
本製品は、ブザー音が鳴る状態で設定されていますが、ブザー音が鳴らないように切り替えることができます。
※サイレントモード設定時は、高熱アラームも鳴りません。

体温の測り方（体温モード）

- ① プローブと測定センサーが清潔であり、損傷がないことを確認します。
- ② 電源を入れます。
- ③ 額から4cm以内の距離で、額の中央に対して測定センサーの面が平行になるようにプローブ部を向けます。
- ④ 「STARTボタン」を押し、体温を測定します。測定完了後に長いビーブ音が鳴ります。
- ⑤ 測定された体温が表示モニターに表示され、過去 25 回の測定記録が保存されます。
- ⑥ 測定後は、 アイコンが点滅しなくなるまで待ってから次の測定を行ってください。

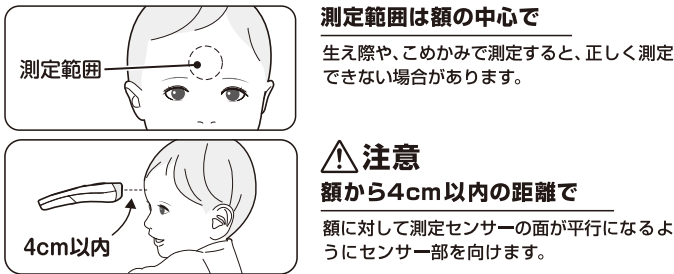
Point!!

測定時の注意・ポイント

- ・本製品は額の温度を舌下体温に補正して表示します。わきで測る体温の数値と比べると、舌下体温は0.2℃ほど高くなり温度差が生じる場合があります。（個人差があります）
同じ体温計で、同じ時間、同じ測定部位での計測が平熱を知るポイントです。
- ・赤外線体温反映率は部位によって異なり、体温反射率が最も高い動脈を感知しない場合、体温が低く測定される場合があります。（体温反映率は人によって異なります）
- ・体温が著しく低く測定された場合や、誤差を感じた場合は少しずつ場所をずらしながら2、3回測定して最も高い数値を測定温度としてください。
- ・本体を長時間手に持っている、環境温度を通常よりも高く検知するため、測定した体温が通常より低く表示されます。長時間本体を持ち続けしないでください。
- ・気温の低い場所では正常な数値が出ない場合があります。体温計、被測定者ともに15℃以上の場所で30分程度気温になじませてから測定してください。

うまく測れない原因

- ・同じ時間に同じ環境で測定していない。
 - ・額からプローブを離しすぎている。
 - ・額と測定センサーの面が平行になっていない。
 - ・ピーブ音が鳴り終わる前にプローブを動かしている。
 - ・額に汗をかいていたり、ファンデーションや髪の毛など、額と測定センサーとの間に測定を妨げるものがある。
 - ・冷暖房など、風や熱気のある場所で測定している。
- ※その他の原因は、本取扱説明書の注意項目をご確認ください。



測定範囲は額の中心で

生え際や、こめかみで測定すると、正しく測定できない場合があります。

⚠ 注意

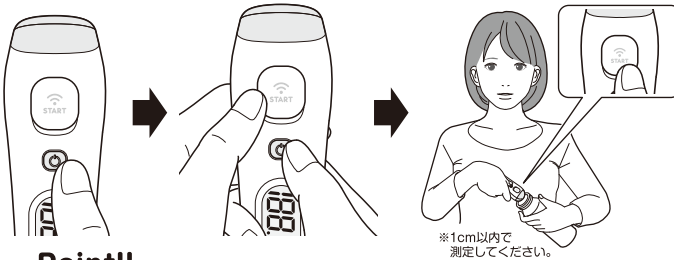
額から4cm以内の距離で

額に対して測定センサーの面が平行になるようにセンサー部を向けます。

- 連続して測定する際は、30秒ほど間隔を空けてください。

物体温度の測り方（温度計モード）

- ① プローブと測定センサーが清潔であり、損傷がないことを確認します。
- ② 電源を入れます。
- ③ 「電源 / メモリーボタン」を押しながら「START ボタン」を1度押し、温度計モードに切り替えます。
- ④ 「START ボタン」を押すと、測定時の温度が瞬時に表示されます。
※温度計モードにおける測定温度は、体温計モードで測定された体温と異なり、調整／換算していない実際の温度が表示されます。
- ⑤ 「START ボタン」を長押しすると、対象物の最新の測定結果に表示が更新され続けます。



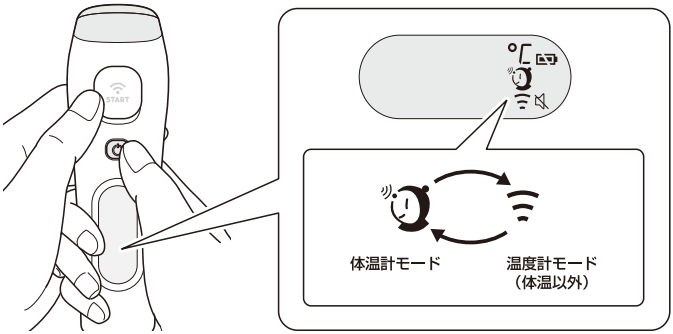
Point!!

測定時の注意・ポイント

- ・温度計モードでは、内部の温度ではなく表面の温度を計測します。ミルクや離乳食、お風呂の温度は温度測定の前によくかき混ぜてから測定してください。
- ・プラスチック製品などの温度が伝わりにくい容器をお使いの場合は、容器の外側からではなく、直接中身に測定センサーをかざすように測定してください。
- ・防水仕様ではありません。本体に水などの液体がかからないようにしてください。また浴室などの湿気が多い場所では結露しますので測定後は放置せず室内に戻して保管してください。

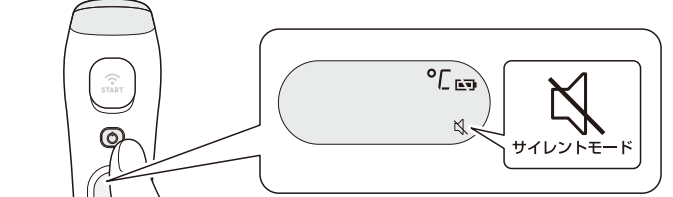
体温計モードと温度計モードの切り換え

- ① 本製品の電源を入れます。
- ② 「電源 / メモリーボタン」を押しながら、「START ボタン」を1回押すと、表示モニターの測定モードアイコンが切り替わります。



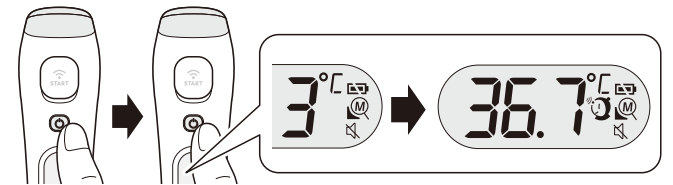
サイレントモードの切り換え

- ① 電源が入った状態で、「電源 / メモリーボタン」を約3秒間長押しすると、表示モニターにアイコンが表示されます。
- ② 同じ手順で、サイレントモードを解除することもできます。



メモリー機能

- ① 電源が入った状態で、「電源 / メモリーボタン」押すと  アイコンが表示されます。
- ② その後、さらに「電源 / メモリーボタン」を押すと過去 25 回の測定結果を確認できます。

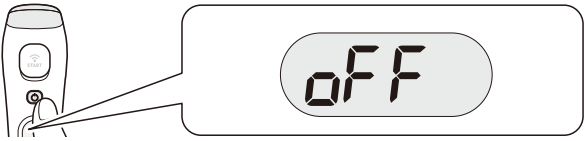


こんなときは

エラー表示	問題点	解決策
	エラー 5 ～ 9 システムが正常に機能していません。	電池を外し、1分間経ってから再度取り付けてください。 エラーメッセージが再表示される場合は、お客様サービスセンターに連絡してください。
	測定準備ができていません。	 アイコンが点滅しなくなるまでお待ちください。
	使用温度範囲外です。	本製品を室温 10℃～40℃の部屋に30分程度置いてください。
	体温計モード 測定された体温が42.2℃よりも高くなっています。 温度計モード(体温以外) 測定された温度が80℃よりも高くなっています。	測定は使用温度範囲内の対象物（人間を含む）で行ってください。 同じメッセージが表示される場合は、お客様サービスセンターにご連絡ください。
	体温計モード 測定された体温が34℃よりも低くなっています。 温度計モード(体温以外) 測定された温度が-22℃よりも低くなっています。	測定は使用温度範囲内の対象物（人間を含む）で行ってください。 同じメッセージが表示される場合は、お客様サービスセンターにご連絡ください。
	電源をオンにしても測定画面になりません。	新しい電池に交換してください。

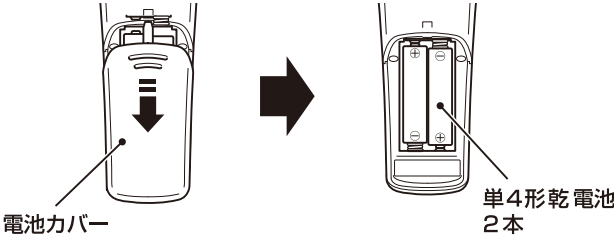
電源の OFF

「電源 / メモリーボタン」を約 8 秒間押し続けるか、電源が入った状態で約 60 秒間放置してください。電源が OFF になります。



電池交換

- 電池カバーを親指で押し、取り外してください。
- 本製品をしっかりと持ち、電池を取り外します。
- 新しい電池を取り付ける際は、電池のプラス側とマイナス側の向きを確かめてください。
- 電池カバーを取り付けます。
- 取り出した電池は、小さなお子様の手が届く場所に置かないでください。
 - ※電池の廃棄は、地方自治体の条例・規則に従い行ってください。
 - ※電源を入れたままで電池交換をしないでください。
 - ※「電池残量」アイコンが電池残量不足を示したら、ただちに電池を交換してください。



お手入れと保管

- プローブ及び測定センサーは最もデリケートな部分です。クリーニングの際に破損しないよう、細心の注意を払ってください。
- プローブ部分が汚れた場合は、乾いた布でプローブと測定センサーをクリーニングしてください。
- 保管環境温湿度：-20℃～ 50℃ 85%RH 以下
- 体温計は水、直射日光を避け、乾燥した場所に保管してください。
- 測定センサーとプローブは絶対に液体に浸さないでください。
- 体温計を落としてしまった場合は、必ず、正確に測定できるかどうか確認してください。
- 正確に測定できているか判断できない場合は、お客様サービスセンターに連絡してください。

EMC 技術資料

本製品は医用電気機器を安全に使用するために要求されている EMC（電磁両立性）規格、IEC60601-1-2:2014 に適合しています。
IEC/EN 60601-1-2 に代表される EMC 規格は、医用電気機器を安全に使用する、ため機器から発生するノイズが他の機器に影響を及ぼしたり、他の機器（携帯電話など）が発する電磁波から受ける影響を、一定レベル以下に抑えるように定めた規格です。
【EMC(電磁両立性)とは】
EMC(電磁両立性)とは、次の 2 つの事項を満たす能力のことです。
・周辺の他の電子機器に、許容できない障害を与えるようなノイズを出さない。（エミッション）
・周辺の他の電子機器から出されるノイズなど、使用される場所の電磁環境に耐え、機器の機能を正常に発揮できる。（イミュニティ）
【EMC（電磁両立性）にかかわる技術的な説明】
・本製品は、EMC に関する特別な注意を必要とし、以下の EMC の情報に従って使用する必要があります。

⚠ 注意

- 本書に記載された EMC 情報に基づいて使用してください。
- 携帯及び移動無線周波 (RF) 通信機器により本品は影響を受ける恐れがあります。
- 指定外の付属品を使用すると機器のエミッションの増加又はイミュニティの低下を引き起こす恐れがあります。
- 本製品は他の電子機器と密着させたり、重ねた状態で使用しないでください。

製造業者による宣言 - 電磁エミッション		
本製品は、以下に示す電磁環境(在宅医療用)での使用を目的としています。本製品の患者又は使用者は、このような環境で本製品が使用されていることを確認してください。		
エミッション試験	適合性	電磁環境 - ガイダンス(在宅医療環境用)
RF エミッション CISPR 11	グループ 1	本製品は、内部機能のためだけに RF エネルギーを使用しています。したがって、その RF エミッションは非常に低く、近傍の電子機器に何らかの干渉を生じさせる可能性はほぼありません。
RF エミッション CISPR 11	クラス B	本製品はは、住宅環境及び住宅環境の建物に供給する商用の低電圧配電系に直接接続したものを含むすべての施設での使用に適しています。

製造業者による宣言 - 電磁イミュニティ			
本製品は、以下に示す電磁環境(在宅医療用)での使用を目的としています。本製品の患者又は使用者は、このような環境で本製品が使用されていることを確認してください。			
イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	適合性レベル	電磁環境 - ガイダンス(在宅医療環境用)
静電気放電(ESD) IEC 61000-4-2	±8 kV 接触 ±2 kV ±4 kV ±8 kV ±15 kV 気中	±8 kV 接触 ±2 kV ±4 kV ±8 kV ±15 kV 気中	床は木材、コンクリート又はセラミックタイルとしてください。 床が合成材料で覆われている場合、相対湿度は少なくとも 30%であることを推奨します。
電力周波数(50/60 Hz) 磁界IEC 61000-4-8	30 A/m 50 Hz 又は 60 Hz	30 A/m 50 Hz 又は 60 Hz	本製品の電力周波数磁界は、典型的な在宅医療環境と場所に対する特徴的なレベルである必要があります。
放射 RF IEC 61000-4-3	10 V/m 80 MHz ～ 2.7 GHz b 80 % AM (1 kHz)	10 V/m 80 MHz ～ 2.7 GHz b 80 % AM (1 kHz)	推奨分離距離 d = 1.2 √P d = 1.2 √P 80MHz to 800 MHz d = 2.3 √P 800MHz to 2.7 GHz ここで、P は送信機製造元による最大出力定格を表し単位はワット(W)、d は推奨分離距離で単位はメートル(m)です。 固定の無線送信機からの電界強度は電磁気の現地場調査aによって決定されますが、これは各周波数範囲bの適合性レベルより小さくする必要があります。 次の記号が表示された機器の近くでは、干渉が発生することがあります。

注記 1：80MHz及び800MHzでは、より高い周波数範囲を適用します。
注記 2：これらのガイドラインは、すべての状況に対して適用するとは限りません。
a. 無線（携帯/コードレス）電話及び陸上移動無線の基地局、アマチュア無線、AM・FMラジオ放送及びテレビ放送のような固定送信機からの電界強度は理論的に正確な予測ができません。固定 RF 送信機に起因する電磁環境を評価するには、電磁場調査を考慮する必要があります。本製品が使用する場所において測定した電界強度が上記の適用する RF 適合性レベルを超える場合は、本製品が正常動作するかを検証するために観察する必要があります。異常動作を確認した場合は、本製品の向きを変えるか再配置するなど、追加の対策が必要な場合があります。

携帯型及び移動型無線通信機器と本製品との間の推奨分離距離			
本製品は、放射無線妨害を管理している電磁環境内(在宅医療用)での使用を意図しています。本製品の患者又は使用者は、通信機器の最大出力に応じて、下記に推奨している携帯型及び移動型 RF 通信機器(送信機)と本製品との間の最小距離を維持することで、電磁干渉を防ぐことができます。			
送信機の最大 定格出力電力 (W)	送信機の周波数による分離距離 (m)		
	150 kHz ～ 80 MHz d = 1.2√P	80 kHz ～ 800 MHz d = 1.2√P	800 kHz ～ 2.7 GHz d = 2.3√P
0.01	N/A	0.12	0.23
0.1	N/A	0.38	0.73
1	N/A	1.2	2.3
10	N/A	3.8	7.3
100	N/A	12	23

上記に記載されていない最大出力定格の送信機については、送信機の周波数に適用される式を使用して推奨分離距離d(m)を推定できます。ここでpは送信機の最大出力定格(ワット W)を送信します。
注記1：80MHz及び800MHzでは、より高い周波数範囲を適用します。
注記2：これらのガイドラインは、すべての状況に対して適用するとは限りません。
電磁気の伝搬は、建物、物体及び人体による吸収や反射の影響を受けます。

製造業者による宣言- 電磁イミュニティ RF無線通信機器に対する外部ポートのイミュニティ試験仕様							
本製品は、以下に示す電磁環境(在宅医療用)での使用を目的としています。本製品の患者又は使用者は、このような環境で本製品が使用されていることを確認してください。							
試験周波数 (MHz)	帯域 a) (MHz)	サービス a)	変調 b)	最大電力(m)	距離 (m)	イミュニティ試験レベル (V/m)	適合性レベル (V/m) (在宅医療用)
385	380～390	TETRA 400	パルス変調 b) 18 Hz	1.8	0.3	27	27
450	430～470	GMRS 460, FRS 460	FM c) ±5 kHz 偏差 1 kHz 正弦	2	0.3	28	28
710	704～787	LTE帯域 1, 3, 17	パルス変調 b) 217 Hz	0.2	0.3	9	9
745							
780							
810	800～960	GSM 800/900, TETRA 800, iDEN 820, CDMA 850, LTE帯域 5	パルス変調 b) 18 Hz	2	0.3	28	28
870							
930							

製造業者による宣言- 電磁イミュニティ RF無線通信機器に対する外部ポートのイミュニティ試験仕様							
本製品は、以下に示す電磁環境(在宅医療用)での使用を目的としています。本製品の患者又は使用者は、このような環境で本製品が使用されていることを確認してください。							
試験周波数 (MHz)	帯域 a) (MHz)	サービス a)	変調 b)	最大電力(m)	距離 (m)	イミュニティ試験レベル (V/m)	適合性レベル (V/m) (在宅医療用)
1720	1700～1990	GSM 1800, CDMA 1900, GSM 1900, DECT, LTE帯域 1, 3, 4, 25, UMTS	パルス変調 b) 217 Hz	2	0.3	28	28
1845							
1970							
2450	2400～2570	Bluetooth, WLAN, 802.11 b/g/n, RFID 2450, LTE帯域 7	パルス変調 b) 217 Hz	2	0.3	28	28
5240	5100～5800	WLAN 802.11 a/n	パルス変調 b) 217 Hz	0.2	0.3	9	9
5500							
5785							

注記：イミュニティ試験レベルを達成するために必要な場合は、送信アンテナと ME 機器又は ME システムとの間の距離を 1m まで近づけることができます。IEC61000-4-3 では、1m の試験距離を許可しています。
a. 幾つかのサービスでは、上り回線周波数だけを含みます。
b. 搬送波は、デューティ比 50 % の方形波で変調します。
c. 周波数変調の代わりに、18 Hz での 50 % パルス変調を使うことができます。これは、実際の変調を表すわけではないが、最悪状態と考えられるからです。

仕 様

販売名	シースター 体温計シリーズ S-708		
医療機器認証番号	229ALBZX00020A01		
一般的名称	皮膚赤外線体温計		
医療機器分類	管理医療機器		
電源	単4形乾電池 2本（約 3,000回の連続測定）		
電撃保護	内部電源機器 BF 形装着部		
IP 保護等級	IP22（防滴保護形）		
測定部位	皮膚表面（額）		
測定方式	赤外線式		
測定範囲	体温計モード 温度計モード	34.0℃～ 42.2℃ -22.0℃～ 80.0℃	
最大許容誤差	体温計モード 温度計モード	± 0.2℃（35℃～ 42℃） ± 0.3℃（上記以外の範囲） ± 0.3℃（22℃～ 42.2℃） ± 4%または± 2℃（上記の範囲外の場合、どちらか大きい方）	
測定範囲外告知	体温計モード中に 42.2℃以上、または温度計モード中に 80℃以上の時に“Hi”を表示 体温計モード中に 34℃未満、または温度計モード中に -22℃未満の時に“Lo”を表示		
体温表示	デジタル表示 3 桁		
最小表示単位	0.1℃		
検温履歴記録数	25		
使用環境温湿度	10℃～ 40℃、15%～ 85%RH		
保管環境温湿度	-20℃～ 50℃、85% RH 以下（室温湿度で保管すること）		
本体重量	約 80g（電池含む重量は約 100g）		
外形寸法	長さ 158×幅 48×厚さ 40mm		
付属品	単 4 形乾電池 2 本、取扱説明書（品質保証書付）、添付文書		
電波法	工事設計認証番号：204-420020		
Bluetooth対応規格	Bluetooth 4.0		

保証規定

- 保証期間は「お買い上げ日から 1 年間」です。
- 保証書の再発行はいたしませんので大切に保管してください。
- 取扱説明書、定格銘板などの注意にしたがって正常な使用状態で故障した場合に無償対応いたします。
- 無償対応を受けられるときは、本保証書をご用意のうえ、お客様サービスセンターまでご連絡ください。
- ただし、次の場合は保証の対象にはなりません。
 - (イ) 誤った使用、不注意による故障または損傷の場合。
 - (ロ) 保管上の不備、ご使用者の責に帰すと認められる故障または損傷の場合。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷などの天変地異、電源の異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
- 弊社の許諾を受けることなく、修理や改造を行った場合。
- (ホ) 本保証書の提示がない場合。
- (ヘ) 本保証書に販売店、お買い上げ日などの記載の不備がある場合、あるいは内容を書き換えられた場合。
- 本体ラベルが剥がされていたり、読めなくなっている場合は保証期間に関わらず対応いたしかねます。

保証書

品名	シースター体温計シリーズ S-708		
保証対象	上記保証規定によります		
保証期間	お買い上げ日から 1 年		
お買い上げ日	年 月 日		
お客様名			
お客様住所			
販売店名			
販売店住所			
販売店電話番号			
製造・販売元	シースター株式会社 〒108-0075 東京都港区港南 1 丁目 8 番 40 号 A-PLACE 品川 4F 【問い合わせ先】 お客様サービスセンター ☎ 03-4511-8855 受付時間 平日 9:00 ～18:00 (土日祝日・夏期および年末年始休業を除く)		